

フェアウインドきの 施設季刊誌
~fairwind~ 秋号

2024年度 第75号

発行：フェアウインドきの広報係

〒606-0015

京都市左京区岩倉幡枝町2250

TEL /075-712-5252

FAX/075-712-5270



特集

褥瘡（床ずれ）予防の支援

- 排泄褥瘡委員会の活動
- 床ずれの予防と対策

褥瘡予防のとりくみ

排せつ褥瘡委員会の活動



看護副主任
副委員長 榎本 牧子
Enomoto Makiko



3階 介護福祉士
委員長 久保 純
Kubo Jun

地域の高齢者数は年々増加するとともに、重度化予防も大きな課題となっています。当施設では、排せつ褥瘡委員会により、褥瘡（床ずれ）の予防に努めています。

今回は久保委員長、榎本副委員長に、施設でのとりくみについてお話を伺いました。（インタビュー：リハビリテーション科小松）

排せつ褥瘡委員会の活動内容

—今回は褥瘡予防をテーマに伺いたいと思います。委員会の主な活動について教えてください。

久保 排せつ褥瘡委員会では、月に1度、褥瘡（床ずれ）が発生している人や、今後発生のおそれがある人を確認し、支援内容を話し合っています。また排せつの自立をめざした支援方法も検討しています。他に「JCOM（科学的介護の向上を目的とした厚生労働省へのデータ提出のしくみ）」にとりくんでおり、評価状況の確認も行っています。

—委員会は今年で7年目を迎えましたね。今年度のとりくみ内容の特徴などはありますか？

榎本 今年新しいエアマットを導入し、褥瘡発生者への対応も手厚くなりました。また、池本施設長が着任されて、積極的な治療への助言があり助かっています。日常の予防対策としては、マットレスや車いすクッション、おむつ、パットの選定、保湿ケア等があげられます。



久保 直近では、褥瘡が骨まで達するほどの深い褥瘡の方がおられました。その方の回復には目を見張るものがありました。

—そのケースではどのようなことにとりくみましたか？

榎本 ひとことと言えば、多職種協業ですね。施設長からは皮膚状態の段階に合わせた薬の使い方の助言や、専門医療機関との連携をしていただきました。看護師は毎日の傷の処置を行い、管理栄養士は日々の栄養管理、リハビリによるポジショニング支援、介護士による定期的な体位交換などを行いました。各専門職の知識と技術が発揮されたことで、より高い成果があったのだと思います。

久保 常に起きて活動したいという希望がありました。それが、かえって傷を長時間圧迫することになっていたので、適時臥床していただくようにも促しました。

心理的支援にも配慮

榎本 精神的なフォローができたこともうまくいった要因だったと思います。

— 具体的にどのようなことで
— でしょうか？

久保 以前は入浴を嫌がる傾向にありましたが、直近では拒むことがなくなりました。ご本人から話を聞いてみると、早く治すために、清潔を保つことが必要だという説明を、看護師から丁寧に説明してもらったようです。ご本人の希望を尊重しつつ、わかりやすく納得しやすい形で提案できたことが良かったのだと思います。

— 最後に今後の展望について
— 伺っていいでしょうか？



インタビューの様子

早期発見をめざして



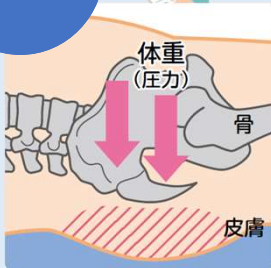
榎本 褥瘡対策は早期発見につけると思っています。日々の介護の中で状況を「見る力」を高めていき、全職種で共有できるようにしていきたいです。そのために、委員会からの啓発活動が続けたいですね。

あたりまえに継続したい

久保 現在、褥瘡発生者は電子カルテのトップページで共有しています。高リスク者には体位交換表を作成するとともに、リハビリにはポジショニング写真を貼ってもらい、だれが対応しても同じケアができるよう工夫しています。日々の業務はかなり時間に追われていますが、私たち介護職が「あたりまえのことを、あたりまえに継続できること」をめざしていきたいと思っています。

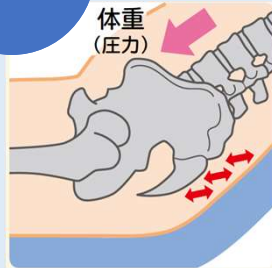
床ずれの原因と対策

圧迫



長時間の圧迫で血流が阻害されると皮下組織が壊死してしまいます

ずれ



皮下組織が外力でズレると傷が発生します

湿潤 乾燥



尿便汚染の長時間放置は皮膚がふやけます。乾燥で皮膚が薄く弱くなりやすい

栄養 不足



体重減少は骨が突出する原因に。特にたんぱく質は傷の修復にも必要です

予防対策

状況観察



リハビリや 栄養状態の確認



スキンケア



福祉用具の活用





デイケア家族交流会を開催

8月19日にデイケアご利用の家族様を対象とする「家族交流会」を開催しました。今回が初となる試みです。総勢15名が参加し、デイケアや入所フロアの見学の後、皆さんで交流しました。ご家庭で困っていることや励みになることなどを活発にお話いただきました。学びと気づきが深まる一日になりました。



夏の清涼ウィーク

今年の夏は異常な暑さでしたね！8月は清涼ウィークとして、夏を楽しむレクリエーションが目白押しでした。ヨーヨーつり、スイカ割り、射的、駄菓子子の提供などで、暑さを吹き飛ばしていました！
10月はけやき祭で盛り上がりますよ♪

面会時間

- ①10：30-11：30
- ②13：30-14：30
- ③15：30-16：30

入浴日の面会をご遠慮ください。

- 2階入浴日＝月曜・木曜は不可
- 3階入浴日＝火曜・金曜は不可

- ☐ サージカルマスク着用をお願いします
- ☐ 飲食物の持ち込みはご遠慮ください
- ☐ 未就学児がいる場合は事前連絡ください

面会制限を一部緩和

9月14日より面会制限を更に解除し、予約なしで訪問を可能としています。入浴日と食事時間の面会をご遠慮いただいておりますので、詳細をご確認ください。新型コロナウイルスやRSウイルスなど流行していますので、ご配慮の上での面会をお願いいたします。



実習生を受け入れています

当施設は、リハビリ職や看護職の養成校より実習生を受け入れています。看護部門では先端科学大学、リハビリ部門では、佛教大学、橘大学、京都大学、関西医科大学、大阪医療福祉専門学校の学生さんが、介護老人保健施設の仕事について学習いただいています。未来の若い力に期待しています！

日々の様子をFacebook・Instagram.で発信中！



応援よろしくお願いします(^^)／



facebook



Instagram